

青木 綾乃さん（環境科学専攻・博士前期課程1年）が 日本地すべり学会 若手優秀発表賞を受賞しました。

2021年9月に開催された日本地すべり学会第60回（2021年度）研究発表会において、大学院自然科学研究科環境科学専攻・フィールド科学コースに所属する博士前期課程1年の青木綾乃さんが若手優秀発表賞を受賞しました。

本賞は、日本地すべり学会第60回（2021年度）研究発表会で優秀な発表をした満35歳以下に授与される賞です。

本ポスターでは、新潟県糸魚川市の大所川流域の地すべりを、リモートセンシングにより検出し（航空レーザーデータと差分干渉 SAR 解析）、地すべり検出における、2つの手法の特徴や違いに関して発表しました。

発表者：青木 綾乃（環境科学専攻・博士前期課程1年）

発表題目：新潟県蓮華温泉周辺での地すべりの検出における航空レーザー測量と差分干渉 SAR 解析の比較

指導教員：奈良間 千之 教授

